



富山県美術館
2019/2/2/2/sat
“1000 keyboards”

富山県美術館

<http://tad-toyama.jp>

ASUNA

100 KEYBOARDS

日時：2019年2月2日（土） 14:00~15:30

会場：富山県美術館 2階ホワイエ

※申込み不要、開始時間に会場までお越しください。

『100 KEYBOARDS』

- 干渉音の分布とモアレ共鳴 -

100台にも及ぶ電池駆動の小型キーボードによる演奏。

各鍵盤が一定した音程の持続音を鳴らすことで発生する音のうなりは、その数が増えるにつれて不思議な音のモアレを生み出す。演奏されているキーボードはそれぞれが安価な製品であったりオモチャとして作られたものが大半であるため、各鍵盤の音程/チューニングには微妙なずれがあったり、電池駆動のため不安定な音の推移をみせる場合があり、返ってそのわずかな音のずれにより複雑な共鳴がうまれる。

このパフォーマンスは、同一周波数の音波で伝播方向が異なるものが重なり合うと、音圧などが複雑に分布する現象である干渉音/モアレに焦点している。

音を聴いている耳の方向を変えてみたり少し場所を移動して耳をすますと、空間における複雑な干渉音と共鳴が、微細な位置ごとに異なる音のうなりやループ/ビートをうみだす。

それは「モアレ (moiré)」の原義である「織物の模様」をそれぞれの耳で編むような聴覚体験といえるだろう。

ASUNA (アスナ)

10代の頃から東京の実験音楽/即興/音響シーンに関わり、並行して音の物理現象に関する美術作品も制作。語源から現在の事物を再考察するインスタレーション作品『Each Organ』、オモチャ楽器と電子音楽によるパフォーマンス『100 Toys』、そのほかアコースティック楽器や電子音楽による作曲作品から即興演奏まで、多岐に渡りつつも一貫した作品制作を行う。これまで海外20カ国以上で演奏/展示、CDやレコードなどをリリース。ドイツの電子音楽家のヤン・イエリネクや、美術家の佐藤実 -m/s と長年に渡るコラボレーションによる制作も行っている。

今回は、欧州・オーストラリアでの『100KEYBOARDS』ツアーや、カナダでの PuSh INTERNATIONAL PERFORMING ARTS FESTIVAL への招待参加など、多数の海外公演から帰国直後のパフォーマンスとなる。

問い合わせ連絡先 富山県美術館 普及課
〒930-0806 富山県富山市木場町3-20
TEL 076-431-2711 FAX 076-431-2712
美術館開館時間 9:30-18:00(展示室入場は17:30まで)

富山県美術館ホームページ <http://tad-toyama.jp>

